

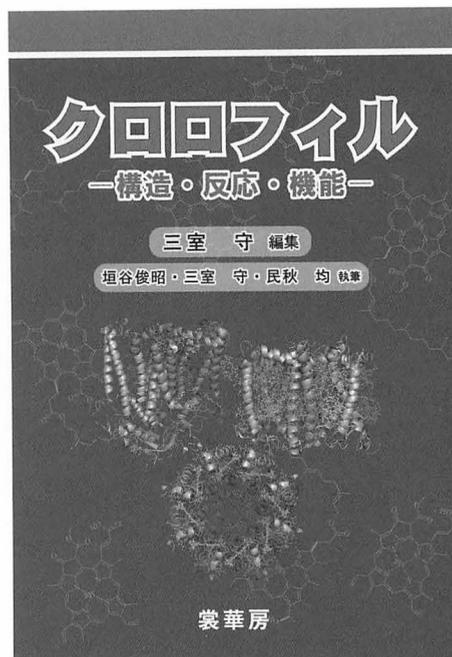
書評・新刊紹介

三室 守 編, 三室 守・垣谷俊昭・民秋 均 著

クロロフィル —構造・反応・機能—

最も重要な光合成色素である“クロロフィル”について体系的に書かれた教科書が初めて出版された。本書は2006年に出版された「カロテノイド-その多様性と生理活性-」, 高市真一編, 三室他著(裳華房)の姉妹本にあたり, 編者が構想していた光合成色素3部作シリーズの第二弾ともなった。本書「クロロフィル」は植物生理学・有機化学・理論生物物理学と, 専門分野を異にする3名の著者による分担執筆で構成されているが, 用語や説明なども含め分野間の壁を越えた調整作業が入念に行われ, 全体を通して統一感が保たれている。クロロフィルをはじめとする光合成色素の種類や組成などは藻類を理解する上で根基をなすものであるが, 本書はクロロフィルのもつ多様で多彩な姿について現在までに蓄積されてきた幅広い知識の全貌を提供している。また, いくつもの示唆に富む展望なども述べられており, この分野の今後の進展を予見することもできる。

本書は, 第1章クロロフィルと光合成, 第2章クロロフィルの化学, 第3章クロロフィルの物理学, 第4章クロロフィルの生物学, 第5章クロロフィルの分析法, から構成されている。文献は入手しやすい総説を中心に, 各章末に紹介されている。第1章ではクロロフィルの基礎的事項の他, クロロフィル研究の歴史と今後の展望が述べられている。第2, 3章はクロロフィルの化学と物理学の解説になっており, 生物学系の読者には難しい記述もあるが, 光合成色素の基礎的物性や各種の利用/応用などを理解する際にも活用できる。第4章では光合成系におけるクロロフィルの機能, クロロフィルの代謝経路, 進化的考察などが丁寧に記述されている。第5章はクロロフィルの分離精製から各種の分光学的測定法が実測例と共に紹介され, さらに巻末の付録としてクロロフィルの分光データや文献・専門書のリストがまとめられている。



裳華房 A5 版
324 頁 (カラー 4 頁)
定価 4000 円 + 税
2011 年 3 月
ISBN 978-4-7853-5844-0

著者らの経験に基づく細かい注意点も紹介されており, クロロフィル研究の実験書あるいは基礎資料集にもなっている。なお, あとがきにも触れられているように Web を活用した正誤表などの公開が, 前著「カロテノイド」同様に行われる予定である。

光合成色素の生物学をライフワークとされてきた編者の三室守氏は, 刊行目前の本年2月8日に逝去されました。病魔と闘いながら, 亡くられる直前まで精力的に最終校正を進めておられました。

(神戸大学・内海域環境教育研究センター 村上明男)



藻場生態系保全活動ハンドブック

水産庁の環境・生態系保全活動支援事業では, 地域の皆さんが主体となった藻場の保全や再生活動を支援しています。しかし, これらの活動は専門知識が求められる反面, 一般向けの「教科書」がありません。今年の3月に作成された本書は, 藻場や干潟, ヨシ帯, サンゴ礁における活動の指南書として作成されており, 藻場における観察のポイントや成熟の見分け方などがわかりやすく書かれています。一般の方だけでなく, 大学生への導入教科書としてもよいかもかもしれません。非売品ですが, 問い合わせは発行者(全漁連)までどうぞ。(編)

